



おいそ

第30号

民生委員・児童委員たより

発行 大磯町民生委員児童委員協議会 神奈川県中郡大磯町東小磯183番地 TEL0463-61-4100 FAX0463-61-6002

支え合う住みよい社会に向けて

新型コロナウイルスが5類となり、さまざまな制限が解除されたことで、民生委員としての各会議はもちろん、スキルアップのための講演会や研修、各町内会と連携した活動、児童委員としての学校との連携や見守り活動など、あらゆる委員活動が元に戻り、目まぐるしく過ぎた1年でした。

特に町総合防災訓練においては、避難行動要支援の方への取り組み2年目にあたり、町内会と民生委員との絆がより一層深まりました。また、地域の皆様と関係機関とのつなぎ役として、地域包括支援センターとしっかり連携することにより、地域の皆様のお困りごとを少しでも早く解決できるよう努めてまいりました。

今年は、いよいよ現委員の任期最後の1年となります。各委員が悩みや喜びを分かち合い、ガッツリとスクラムを組みながら、一層やりがいを感じる年にしてまいりたいと思います。そして、私たちの活動を多くの方に知っていただき、より多くの仲間を迎え、「支えあう住みよい地域」「誰もが安心して暮らせる社会」を目指してまいります。

民生委員の役割は、地域の相談窓口として町や県などの行政や福祉関係の専門機関へ「つなぐ」ことです。難しいことは何もありません。少しでも社会のために自分の時間を使いたいと思っていらっしゃる方、一緒に活動しませんか。お待ちしております。

会長 織戸 明



《パネル展示のお知らせ》

広報委員会では民生委員児童委員の活動を、より多くの皆様に知っていただくために、活動強化週間をはじめとした横溝まつりや大磯福祉まつりなどのイベントで様々な活動の写真を展示しています。



この展示を通じて民生委員児童委員を身近に感じていただけたら幸いです。

次回の展示は活動強化週間『5月12日(月)～16日(金)』に役場1階ロビーにて行います。

乞うご期待!!

広報委員長 小島 美奈

児童委員の想い



私の地区では、高齢者の方々が集う「長寿会」や「通いの場」が定期的で開催されており、多彩な活動を通じて交流が深まっています。

皆様の笑顔やお話から、私自身も多くを学ばせていただき、地域の絆が強まるのを実感しています。

月京地区（第一期） 柏木 伸子



あっという間に2年が過ぎました。新しい仲間との出会い、自分自身のスキルアップの機会に恵まれ、民生委員をお引き受けして本当に良かったと思います。

人生100年時代、子育て、それぞれの介護といろいろ卒業した今、自分自身を見直す良い機会を与えられたと感じているこの頃です。

高麗地区（第一期） 末政 陽子



コロナ禍を経てようやく対面での活動機会が増えたことが何より嬉しかったです。

委員同士で活動状況など情報を交換できるようになりました。委員は地域や人のために少しでも役に立ちたい、という気持ちが強い人たちが多く、「自分もやらねば!」と元気を分けてもらっています。

主任児童委員（第二期） 加藤 恭子

私は民生児童委員となって戸惑いと不安の毎日でしたが、仲間の励ましや近隣の人達の力添えのおかげで頑張ってきました。感謝です。

部会研修ではフードバンクや秦野市の子ども食堂が印象に残っています。町内にも多くの人に支えられた大磯らしい子どもの居場所が増えることを願っています。

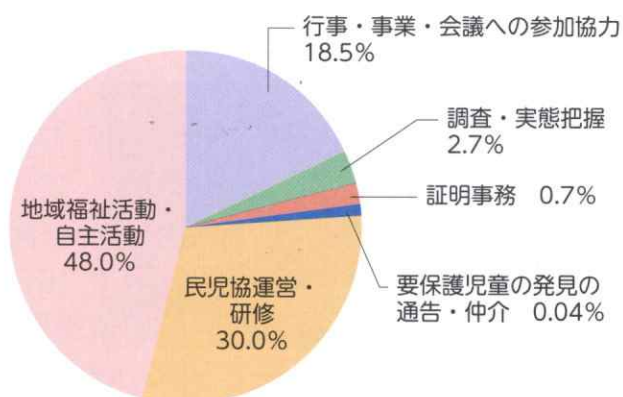
神明町地区（第一期） 熊田 美江子



委員の活動あれこれ

《活動の内容》

私たちは、皆様が安心して相談できるよう、講演会や講習会などの研修を通じ自己研鑽に励んでいます。そして、地域行事への参加などを通して地域の実情を把握し、誠意をもって相談に応じ、自立への一歩を支援することを目指しています。





民生委員・児

以前、地区役員として民生委員のなり手を探した際、多くの方から、大変だからと断られ苦労しました。

いざ、自分になってみると、そんなことはなく、講演会・施設見学・訪問活動などさまざまな経験ができ、意外と楽しく過ごしています。

国府新宿地区(第一期) 佐藤 陽一



人前に出るのが苦手な私に民生委員が務まるのかと不安でしたが、ここは実に温かい善意の集まりでした。経験豊富な先輩方に助けられ、楽しく活動できています。

まだまだ未熟ですが、地域の方の困りごとに耳を傾けお役に立ちたいと思います。

南本町地区(第一期) 妹尾 光子

この5年間で最も忘れられないことは、ある独居の男性への支援です。周囲との付き合いもなく、連絡手段は手紙のみ。介護保険の利用を考え始めたある日、ご自宅を訪ねると布団の中で動けずトイレにも行かれない状態に。あと数日遅れていたら…。

まだまだ不十分なことばかりですが、少しでも地域に根を張れるよう活動したいと思います。

山王町地区(第二期) 小山 由紀子



部会で『温泉地学研究所』を見学し、能登に派遣されていた学芸員の方から、現在の耐震基準の建物は被害が少なかったと伺い、自宅の耐震対策をしようと決めました。

研修後は近くのレストランにて、皆さんと大いに親睦を図ることができました。

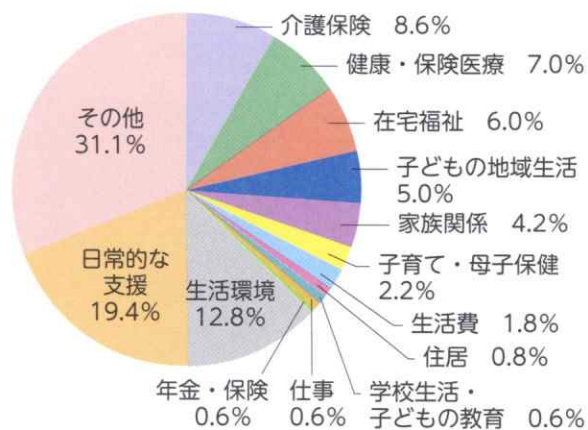
西小磯西地区(第四期) 米山 絵美

民生委員・児童委

《相談・支援の内容》

民生委員・児童委員は「行政や専門機関へのつなぎ役」としての「相談・支援」が大きな仕事です。令和5年度に扱った件数は499件でした。

過去8年間のデータと比較すると「健康・保健医療」、「介護保険」、「子どもの地域生活」に関する相談がわずかに増加しています。



令和6年度 県外研修 そなエリア東京

県外研修を9月19日(木)に東京臨海広域防災公園にある「そなエリア東京」で行いました。「そなエリア東京」とは“そなえる+エリア”の造語で、ここでの体験と学習を通して“災害をイメージする力・

対応力”を身につけ、災害への備えにつなげていく事を目的にした防災体験学習施設です。

防災体験ゾーンでは、グループに分かれてタブレット端末を使い「防災クイズ」に挑戦。首都直下地震後の被害を再現した街並みで、危険箇所を確認しながら安全な場所まで移動する体験をしました。



災害発生時に生き抜く知恵を働かせること、人それぞれの特性や暮らしに応じた必要な備えを普段からイメージすることの重要性を学びました。

今回の研修で委員同士の交流も深まり有意義な時間を過ごせた1日でした。

西小磯東地区 川福 恵美



《社会福祉事業功労者として県から表彰を受けました》

この度は永年表彰をいただきありがとうございます。日頃の福祉活動を評価していただき大変光栄です。民生委員の委嘱を受けてから、コロナ禍を挟んで10年が経ちましたが、多くの方々と出会い、様々な学びと成長の機会を得ることができました。

ひとえに委員仲間や町職員、地域の方々、そして家族の支援のおかげと感謝しております。今後も変わらず精進して、益々の福祉の発展に尽力して参ります。



西小磯東地区 藤田 季佐子 西小磯西地区 米山 絵美 高麗地区 松本 博美

《編集後記》

今年は民生委員一斉改選があるため、本号は現広報委員会が発行する最後の「たより」となります。私たち民生委員たちの想いをお伝えすることで、一人でも多くの方に仲間に加わっていただきたいという願いを込め作成しました。

大ベテランの先輩方をはじめ、メンバーそれぞれが持てる知恵を出し合い、無事28、29、30号を発行することができました。本当にありがとうございました。

広報委員会

「たより」への連絡先 大磯町民生委員児童委員協議会事務局(町福祉課)

☎0463-61-4100(内線 314)

FAX.0463-61-6002